

平成27～29年度群馬県教育委員会指定

「ぐんまの子どもたちの体力向上推進事業 体力向上推進モデル校」

トップアスリート交流事業 「車いすマラソン」



ロンドンパラリンピックの車いすマラソンで5位に入賞した花岡伸和選手が桜木中学校に来校されました。親近感のあるトークと屈託のない笑顔で、生徒の心を一気に掴んで講演会がスタートです。



レーサー型車いすを3年生が試乗し、体育館を周回しました。バランスの取り方が難しく、ハンドリムを最後まで回し切ることで大きなスピードを生み出すことを教えていただきました。



3年生の部の代表生徒が実際に走ってみて、ゴール後に感想を述べています。コーナーリングの仕方がなかなか難しかったなど、率直な意見が出せたのは、やはり体験したからこそです。



第2レースは、2年生の部。笑顔でリードするのは、3組代表の生徒です。ハンドリムをぐいぐい回して進みましたが、最後は疲れちゃいました。トップアスリートの上半身のすごさを改めて感じる瞬間です。

平成28年 7月11日(月)

講師：フーマジヤパン所属
花岡 伸和 選手



神明小学校の6年生も来校し、講演会に参加しました。6年生は、福祉教育の視点を重視した参加です。「桜木地区学校連携を進める会」の一事業としても、有意義な講演会になりました。



車いすで体育館周回レースを開催。第1レースは3年生の部。一般用の車いすなので操作が難しいのですが、上半身を上手に使ってハンドリムを大きく回します。



神明小学校の代表児童も挑戦します。笑顔いっぱいレースを楽しんでいました。まわりの応援も大きく、体育館1周をがんばりました。



「失つたものを数えるな。残されたものを生かせ」は、花岡選手からのメッセージです。自分自身の持ち味を認識し、その良さをさらに伸ばしていくことの大切さを学ぶことができたのではないのでしょうか。